

超臨界流体部会 第5回部会（幹事会）議事録

日時：平成15年 9月12日（金）
19:00～21:00

場所：ホテルJALシティ仙台

I. 報告事項

下記6つの事柄について配布資料に従い、報告。（詳細は部会配布資料を参照）

1. 第2回サマースクール報告

「超臨界流体技術・研究の最近の動向」 2002年8月8日～9日 嶺水苑（箱根湯本）
参加人数 35名（うち 講師7名 学生8名）

2. 共催・協賛事業・その他

H15.5 Post Congress of MTMS '03

- プロセスの最適化と物性に関する国際フォーラム -（東京）

H15.7 新段階に入った超臨界流体の最新技術

～グリーンケミストリーから各種産業での応用技術まで～（東京）

H15.10/6-8 第24回熱物性シンポジウム

H15.11/21-23 第44回高圧討論会

3. 平成15年度会員数

会員数 296名（平成15年 9月10日現在） 入会 65名 退会20名 変更18名

会員内訳
学生会員 33名
個人会員 180名
個人特別会員 30名
法人個人会員 11社
賛助会員13社 29名
法人特別会員 5社13名

化学工学会本部に登録されている会員数に従い、部会への補助金額が決定される。このため、研究会時代からの会員であっても化学工学会本部への届出が必要。至急登録をお願いするとともに、部会会員数の増強を呼びかける。（Ⅲ. その他の2参照）

4. WG登録状況

単位操作（26名）	幹事（鈴木・スミス・大竹・長瀬）
基礎物性（40名）	幹事（岩井・新田・西海・日秋）
反応・物質交換（95名）	幹事（佐古・大島・古屋）
分離・抽出（57名）	幹事（後藤・船造）
材料製造（54名）	幹事（滝島・宍倉・若山）

すべての部会員にいずれかのWGに所属していただくように登録をお願いする。（Ⅲ. その他の2参照）

5. 部会会則の変更

学会の会員種別管理の変更につき、部会は 個人会員(化工正会員)/ 学生会員(化工学生会員) となりましたので、化工非会員の部会学生会員は存在しないことになりました。

6. WG文献調査報告 調査作業の実施計画等活動計画

各WGより報告。

前回(研究会時)調査以降の文献調査(特許, 学術誌など)を開始(一部作業中)。

報告書の作成法, 形態および詳細な活動計画案などについて各WGで検討。

II. 審議事項

下記5つの事柄について審議し, 承認いただいた。

1. 平成15年度活動計画

第24回 INCHEM TOKYO 2003 化学技術複合展示会

日時: 平成15年11月4日(火)~7日(金)10:00~17:00 (最終日は16:30まで)

会場: 東京ビッグサイト 有明・東京国際展示場(東展示棟)

大学・公的研究機関・TLO成果展示コーナーにて超臨界流体部会からは静岡大学 佐古猛先生、
東京大学 大島義人先生、(独)産業技術総合研究所 生島豊氏が成果展示に参加予定。

第69年会

会期: 平成16年4月2日(金)~4日(日)

会場: 大阪府立大学(堺市学園町1-1)

講演申込期間: 平成15年11月5日(水)~11月25日(火) 12:00

原稿締切: 平成16年1月9日(金) 必着

平成15年3月23日(日)~25日(火)

一般セッションとして開催。

2004年秋季大会はAPCChE2004(2004年10月17~20日(21)北九州市)開催のため、開催しない。

APPChE2004

会期: 平成16年10月17日~21日

会場: 北九州市 北九州国際会議場

本会ではAPCChE2004国際会議の開催に向けて組織委員会(委員長: 名古屋大学・架谷昌信教授)および実行委員会(委員長: 神戸大学・片岡邦夫教授)を設けて準備を行っています。

部会でシンポジウム(栃木先生にまとめ役をお願い)

8th International Symposium on Supercritical Fluids (案)

日時: 2006年11月5日~8日(AIChEを避ける)

場所: 京都(国際会議場)

主催: East Asian Society of Supercritical Fluid Science and Technology

共催: 超臨界流体部会、日本化学会、日本高圧力学会他

参考: 6th ISSF (Versailles, France, 2003.4)

7th ISSF (Orlando, USA, 2005.5)

2. WG予算案

各WGに活動費として¥100,000ずつ配分.

3. 受託(超臨界インキュベーション・コンソーシアムより)について

超臨界インキュベーションコンソーシアムより超臨界流体研究周辺動向調査に関する調査情報一次調査資料提供のお願い

1. 提供調査情報資料

2003年度超臨界流体周辺動向調査一次調査報告年度超臨界流体周辺動向調査一次調査リスト及び資料(電子記録媒体も含む)

2. 期限(原則):平成15年12月末日

3. 対価支払い額:50万円(支払方法、別途打合せ)

各WGの調査資料を提供.ただし,コピーライトの問題などがあるので.データの受渡法など詳細について検討.

4. 化学工学年鑑(2004)の執筆について

1. 原稿締め切り・・・平成16年4月末日

2. SCF部会は9章として3ページの割り当て

3. 見出し(9.1,9.2,・・・)を10月15日までに提出

その後、化工誌編集委員会で調整.(11月の編集委員会で決定)

見出しには各WGの原則として名称を用い,各WGで代表幹事により取りまとめ.全体で3ページなので各WGにつき0.5ページ強.内容の詳細について検討.

5. 超臨界流体部会 第3回サマースクール担当者について

単位操作WG幹事の長瀬様に取りまとめ役を依頼.(第1回(基礎),第2回(材料)なので,次回は反応もしくは分離で担当).

III. その他

1. 平成15年度会員移動

今年度の会員移動について報告.

2. 部会登録のお願い

化学工学会の会員で化学工学会に部会未登録の方は,化学工学会のHPの「部会入会のページ」より部会の登録をお願い致します.また,部会のアニュアルレポート作成資料未提出者は超臨界流体部会事務局までe-mail(scf-div@m.aist.go.jp)またはFAX(022-237-5215)にてお問い合わせ下さい.